

開講科目名 / Course	大学ナビ講座	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	稲垣 敦、関根 剛、品川 佳満、小野 美喜、福田 広美、影山 隆之、杉本 圭以子、濱中 良志、堀 裕子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	大学教育のカリキュラムをはじめ、大学で学ぶうえで基本となる、読む、書く、話す、伝える技術を身に付け、自らの将来ビジョンを描き目標を明確にする。	
到達目標	1. 本を読むこと、考えること、伝えること、文章を書くことなど大学リテラシーの基本を学び実施できる。 2. 大学で何を学ぶのか、大学での学習が円滑にできるための知見を得ることで大学における学習を行うことができる。	
DPとの対応	1. 心豊かな人間性・倫理観、2. 科学的思考力	
授業計画	01. 大学で学ぶということ/大学カリキュラムの方針、考え方 02. メモ・ノートの取り方/大学の授業と試験の受け方 03. 図書館の利用法 04. 伝える技術：アサーション（さわやかな自己主張） 05. 伝える技術：文を書く、レポートを書く 06. ネットリテラシー/心の健康の維持増進 07. 大学生活の送り方 08. 看護と将来の進路と多様な看護の現場	
その他の授業の工夫	大学リテラシーを早く身に付け大学生活に活かせるよう、初期に授業を組み込んでいる。	
時間外学修	担当教員の課題レポートなどの指示に従う。 事前学修：事前課題やレポートにより講義に関する予習を行う（7h）。 事後学修：事後課題やレポートにより講義に関する復習を行う（15h）。	
評価方法と評価割合	すべて出席することが評価の前提である。欠席理由の如何にかかわらず、授業欠席2回にて成績評価レベルを一段階下げる。また欠席理由の如何にかかわらず、授業欠席4回にて最終レポート提出の資格を失う。提出物20%、最終レポート80%。	
テキスト	必要に応じて、プリントを配布する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	関根剛：臨床心理士（教育センター相談室、少年鑑別所勤務経験）
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	臨床心理士の経験を活かしたアサーティブなコミュニケーション技術、臨床の管理経験を活かした学部学生へのキャリア教育	